



## ごあいさつ

宮崎県 PTA 連合会

会長 岡本 吉弘

第 63 回宮崎県 PTA 研究大会日南市大会の開催にあたり、ごあいさつ申し上げます。

会員の皆様方には、本連合会の活動に対しまして深くご理解いただきますとともに、日頃から積極的に PTA 活動にご参加いただいていることに感謝申し上げます。

さて、この 2 年間は、世界中が新型コロナウイルスに翻弄された期間でした。社会の経済活動等に様々な影を落とすとともに、子どもたちにも大きな影響を与えています。本来であれば、子どもたちは、毎日、学校における集団生活をとおして、先生方や友だちと学習し、遊び、語り合って社会性を身に付け、一歩ずつ大人への階段を上っているはずですが、子どもたちは、これまで私たちが経験したことのない様な生活や学習様式を学び、実践していかなければならなくなりました。

そのような中、57 年ぶりに東京を中心としてオリンピック・パラリンピックが開催されました。コロナ禍の中 1 年延期となり、関係者、特に選手の皆様は、途方に暮れた時期もあったのではないかと思います。その 1 年を前向きに捉え、努力を継続してきた結果を各個人のパフォーマンスで示し、私たちを感動させてくれました。

私たち人間には知恵があり、努力できる心があります。オリンピック・パラリンピックの選手のように、物事を前向きに捉えていく思考が大切だと思います。学校においては、先生方の試行錯誤により、オンラインによる授業も行えるようになりつつあります。子どもたちばかりではなく、私たち大人の会議等もオンラインでできる部分があることに気付かされました。

今年は、第 69 回日本 PTA 全国研究大会・第 66 回日本 PTA 九州ブロック研究大会北九州大会が初めてオンラインで開催されました。これまでの様に現地集合して参加者がその場の雰囲気を感じ、顔を付き合わせながら語り合うことはできませんでしたが、たくさんの会員が画面をとおして情報を共有し合うことができました。今回の第 63 回宮崎県 PTA 研究大会日南市大会も初めてオンラインで開催することになりました。集合形式で行うのか、中止にするのか等、日南市の関係者の悩みは、如何ばかりであったかと推察いたします。初めての取組には勇気が必要です。今できる最善のことに努めつつ、大会の開催に向けてご尽力いただいた関係者の皆様、研究発表の準備をいただいた皆様に深甚なる謝意を表します。

宮崎県 PTA 連合会の年間スローガンは、「子どもを真ん中に、共に学び、共に成長できる PTA 活動を推進しよう～家庭・学校・地域との連携・協働をとおして～」です。私たち会員一人一人が PTA の一員であるという当事者意識をもち、会員相互の信頼と協力のもとに、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちの健やかな成長・笑顔のために、今後とも WITH コロナの時代に即応した活動を組織的に推進して参りましょう。

## 令和3年度宮崎県PTA 連合会表彰者名簿

団 体		個 人		
市郡名	表彰団体名	市郡名	表彰者名	所属単位PTA
宮 崎 市	宮崎市立加納小学校 PTA	宮 崎 市	上 村 祐 子	宮崎市立大淀中学校 PTA
	宮崎市立広瀬中学校 PTA	東諸県郡	森 山 康 彦	綾町立綾中学校 PTA
日 南 市	日南市立油津中学校 PTA	日 南 市	田 中 美 紀	日南市立細田中学校 PTA
串 間 市	串間市立秋山小学校 PTA	串 間 市	松 竹 由 貴	串間市立福島小学校 PTA
都 城 市	都城市立山田小学校 PTA	都 城 市	野 口 勇 心	都城市立中郷中学校 PTA
	都城市立志和池中学校 PTA	北諸県郡	福 重 昭 宏	三股町立三股中学校 PTA
北諸県郡	三股町立宮村小学校 PTA	小 林 市	假 屋 公 宏	小林市立須木小・中学校 PTA
西諸県郡	高原町立高原小学校 PTA	えびの市	山 里 英 明	えびの市立上江小中学校 PTA
西 都 市	西都市立妻北小学校 PTA	西諸県郡	中 武 利 仁	高原町立高原小学校 PTA
児 湯 郡	西米良村立西米良中学校 PTA	西 都 市	濱 砂 修 司	西都市立銀上学園 PTA
		児 湯 郡	石 崎 克 俊	新富町立富田中学校 PTA
		延 岡 市	齋 藤 真 之 介	延岡市立南方小学校 PTA
		日 向 市	河 野 富 行	日向市立日知屋小学校 PTA
		東臼杵郡	松 村 泰 広	門川町立五十鈴小学校 PTA
		西臼杵郡	戸 田 博 徳	日之影町立日之影中学校 PTA



## 【アトラクション】

### 桜エイサー太鼓



私たち桜エイサー太鼓は、沖縄伝統芸能であるエイサーを基に創作した「創作太鼓」を踊る団体で、平成14年4月に日南市の小学生を中心に発足し、今年で20年になります。

発足のきっかけは、沖縄伝統芸能のエイサーが同市の桜ヶ丘小学校の運動会で児童たちが披露したことや、また姉妹都市である沖縄県那覇市の職員が日南市役所に交流職員として赴任しエイサーを指導していただいたことで始まりました。

現在は小学生から大人まで約30名で、市内を中心に県内、県外で活動しています。

また、毎年エイサーの本番沖縄へ行って大きな祭りにも参加していますが、あいにく昨年、今年とコロナの影響で行けませ

んでした。機会があればまた沖縄へ行きたいと思います。

それから、演舞をする中で、私たちが心掛けていることは「笑顔」「元気」「感動」を、演舞を見ていただくお客様と共有することです。

私たちとお客様が、お互いに楽しみ元気になり心に残る演舞ができた時が一番嬉しいです。

これからもこの「笑顔」「元気」「感動」を忘れずに、多くの方に心をこめた活動をしていきたいと思ひます。